

## 準備はそろった

6月21日に、新学習指導要領の解説が公表された。

3月31日に告示された新学習指導要領の具体的な内容が示されたことになる。

これで、教育委員会の指示の有無は別として、各学校が教育課程を編成し、教科書を編集する準備はできたことになる。

私事、現在小学校の総則を読んでいるが、教育再生会議や中教審等の新学習指導要領を作成する背景や考え方が書かれていて、ページは多いが大変役に立つ。

皆さんもぜひ読んで頂きたいと思う。

また、中学校に関しては、大きな変化がないので、何が変わっていて、何を変えなくてはいけないのかを行政等の説明があるまでにしっかり読み、概要をつかんでおくと、今後の教育課程編成や学習指導に役立つはずだ。

特に、総則を読んでおくこと。その上で、自分の教科を読んで欲しい。

今回の改訂では、相当前から、全教員が総則を理解し、その上で自分の教科を読むことの必要性を訴えていた。

なお、解説は、

文部科学省のホームページ

↓

新学習指導要領

↓

新学習指導要領（平成29年3月告示）

↓

学習指導要領等

↓

小学校学習指導要領解説 pdf

中学校学習指導要領解説 pdf

で入手できます。

さて、解説を読んだあと、何をすることができるだろうか。

2学期以降には移行措置へ向けての指導計画作成の指示が出てくると思われるので、7月、8月、9月あたりに、現在の指導計画（写し）に、どのように変わるのか、主体的で対話的な深い学びは1年間のどこでできるのかを考えて、赤ペンを入れてみることは重要で意義あることと考える。

行政や校長から言われて動く前に、どれだけ自主的に動くかであろう。

教育課程は、教育委員会のものではなく、学校が編成する子供のためにあるものである。

先生方の積極的な教育課程編成への参画を求めたい。